

アイテム

アートな伊丹を「観る・行く・体験」

アイテム

伊丹の秋 芸術の秋 愉快的秋

2012.10-12
秋号
公益財団法人 伊丹市文化振興財団
TAKE FREE

一青窈 (タイトル未定)

2013年2月11日(月・祝日) 一般:5,900円【全席指定】
※3歳以上はチケットが必要。3歳未満のお子様は保護者1名につき、1名までは膝上での鑑賞は無料。席が必要であれば有料。
※開演時間などが未定なので、HPなどでチェックをお願いいたします!

いたみホール

市民文化活動の拠点



「伊丹は100年...続きました」

(いたみホール事業担当/加藤四季)

結婚式で歌われることが多い「一青窈さんの「ハナミズキ」」。本日は9月11日のテロがきっかけとなった曲といわれています。伊丹とハナミズキで何かないかしら? と思ったところ、ありました! 1912年、日米友好の証として贈られたワシントン州の桜が、伊丹市東野産の台木をもとに苗木を作られたことは有名ですが、そのお返しに、アメリカの人々が愛するハナミズキが1915年に贈られ、伊丹にも来たことはあまり知られていません(ハナミズキの花言葉は返礼、スズキ。ただ残念なことにはその伊丹の樹は枯れてしまったと言われています。そんな中、東京都立園芸高等学校の原木の子孫樹を校苗

木の発祥地である伊丹の東野にと運動が起り、1999年2月20日、粉雪が舞う中、害虫のない桜を贈る為に尽力した当時の伊丹の方々の想い、その桜を大切に下さったアメリカの方々の感謝の気持ちを受け継いだハナミズキが荻野小学校に植樹されました。今も綺麗な花を咲かせているそうです。2012年は日本友好の桜寄贈100周年。花が繋いだ交流。沢山の人の慈しむ想いが生んだ美しい100年物語。「君と好きな人が100年続きますように」祈るように歌う彼女の姿が印象に残ります。勝手なご縁を感じずにいられない曲になりそうです。ご堪能あれ。

いたみホール 宮ノ前1-1-3 ☎072-778-8788

アイホール

現代演劇・ダンスの中心地

舞台人、かく語りき きたまり (振付家)

© yujiro Sagami



2012年12月に振付家きたまりによる新作二作品を連続上演します。
「一般公募で出演者を決めましたね。一度、群舞で作品創りをしてみたかったです。私のダンスカンパニーは、ふだん女子3人です。今まで知らなかった人たちが、どのようにコミュニケーションをとって、どんな動きを見せてくれるのか楽しみです。」
「どのような作品ですか。」
今回、初めて二作品連続上演をするのですが、作品の創り方が全く違っています。二作品目は、ダンスの古典楽曲ストライヴインスキーの「結婚」を新

解釈で振付けます。動きはハッキリ決めていくのですが、なにして、この曲はテンポがとても激しいうえに、リズムが非常に取りにくいんです。音楽と出演者、そして共演者同士の関係性が重要となる作品です。二作品目の「戯舞」は、日本の民俗芸能から着想を得た作品です。民俗芸能のように演劇とダンスの線引きをせず、二つの動きや振りに意味や根拠が込められている舞台にします。」
「最後に、意気込みを!」
コンテンツポラリィダンスの作品は、どうしても身構えて観がち。そんなこと気にしないです! 心を開放して見ていただける作品に仕上げます!

KIKIKIKIKIKI 『結婚』、『戯舞』 12月14日(金)~16日(日)
振付/きたまり 出演/野淵杏子、花本ゆか、ほか
公演日程/12月14日(金)19:30 15日(土)14:00/18:00
16日(日)15:00 (チケット発売日:10月6日) 問合せ/072-782-2000

アイホール 伊丹 2-4-1 ☎072-782-2000

伊丹と世界がコンニチハ!

世界とつながる、伊丹のスポットをご紹介します

伊丹アイフォニックホール

世界の伝統音楽・踊り



インド料理 インディアン・パレス

伊丹市西台4-6-32
072-777-4478 (年中無休)



今年1月に店を引き継いだ店長のプーラン・バドウルさんは、北インド・デリーの5つ星ホテルで修業した後、神戸の店で17年。今回初めて、自分の店を持つに至った。おすすめはスペシャルセット1350円。人気のチキンカレー

カレーは全部で35種類! 年中無休でがんばってますので、ぜひ一度食べに来てください



インディアン・パレス店長 プーラン・バドウルさん

シエフの人柄もアクセント 地域に愛される、本格派インド料理店。
のほか、ベジカレーやサフランライス、ナン、デザートにドリンクもついて大変お得! インド料理の要はやはり豊富なスパイス。クミンやコリアンダーに始まり、数多くのスパイスをどのように料理に取り入れるかはシエフの腕の見せ所だ。カレーの辛さは5段階で調節可能。近隣のインド人もよく訪れる本格派料理だが、全体的に食べやすく日本人の口にもよく合う。店内は家族連れから若いカップルまで老若男女で賑い、価格もリーズナブルで、地域に愛されるインド料理屋と感じた。

伊丹アイフォニックホール 宮ノ前1-3-30 ☎072-780-2110



▲ラスタホールで行われた演奏会の様子。



▲練習にも熱が入ります。



▲団長の西島太郎さん。

ラスタホール

生涯学習の拠点

ラスタライト コンサート ~待兼交響楽団~

「待兼さん」がラスタホール開館20周年を祝う特別企画。オーケストラで聴きたい曲を募集し、そのリクエスト結果からセレクトしたプログラムです。<演奏予定曲>白鳥の湖、ボレロ、カルメンほか。お楽しみに!

ラスタホール 南野 2-3-25 ☎072-781-8877

仕事も家族サービスも音楽も

大阪大学交響楽団と関西の大学オーケストラ出身者を中心に結成されたアマチュア楽団。結成以来、ラスタホールを練習の拠点として活動し、平成8年より「地域の方々をモットーに、22回もの演奏会をラスタホールにて開催。約30名の団員は、30代~40代の社会人、子育て世代が中心。

スタッフさんに聞いてみた

仕事や家族サービスの合間を縫って練習に励む団員のみなさんの音楽への情熱には、いつも敬服しています。今秋の演奏会は、ラスタホール開館20周年を祝うリクエスト曲特集。みなさんからいただいた「聴きたい曲」のリクエストに応えるべく、この夏、楽団一丸となって練習に励まれています。(担当/ラスタホール 笹山幸雄)

本で解決！お悩み相談室

ふんたくんのオススメ本

みなみさんのオススメ本



「サンタクロースって、いるんでしょうか？」
東遼子・イラスト 中村妙子・翻訳
(備成社)

「サンタクロースって、いるんでしょうか？」
東遼子・イラスト 中村妙子・翻訳
(備成社)

図書館大好き！
ふんたくん

伊丹市立図書館 南分館 南野 2-3-25 ☎072-781-7333

アイテム
2012年10月1日発行(季刊夏号・通巻73号)
発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団
編集・デザイン:平井和成(0.1knot)
〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
いたみホール(伊丹市立文化会館)内
tel.072-778-8788 fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan/
e-mail itami-kikaku@bcb.bai.ne.jp

鬼海弘雄写真展 PERSONA
(11/10~12/24) 5組10名様 ※締切/10月31日
プレゼントをご希望の方は、ハガキまたはメールで
郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、
上記文化振興財団宛「アイテムプレゼント係」まで。
当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

みやのまえ
文化の部
美術館
工芸センター
伊丹郷土館
美術文庫

10/27(土)

藤沢文学、珠玉の時代劇を

ラスタホール



(C)「山桜」製作委員会

正義感と誠実さに満ちた武士と、かつて彼が「妻に」と、望んだ女性が山桜の下で再会する。そして二人の運命は静かに、そして大きく揺らいでいく…。

ラスタ映画倶楽部「山桜」

10/27(土) 10:00-14:00・18:00。
一般800円、60歳以上・高校生以下600円
(当日各200円増)。072-781-8877

11/2(金)~11/4(日)

北村想の近年の試みを再検証

アイホール



撮影:清水俊洋

『夫婦善哉』で知られる大阪の作家・織田作之助と映画監督・川島雄三との友情を軸に、オダサクの作品を随所に散りばめながら、懐かしい大阪下町の人間模様を描き出す人情劇。作・北村想×演出・深津篤史のコンビが生み出す大阪浪漫にご期待ください。

【北村想の産種 / 現在】Ai-HALL+DIVE 共同製作
「オダサク、わが友」

11/2(金) 19:30、11/3(土) 15:00/19:30、
11/4(日) 11:00/15:00。一般3,000円、
学生2,000円(当日各500円増)。072-782-2000。

プレビュー

12/9(日)

ハンドベルで天使のハーモニー!

伊丹アイフォニックホール



1990年にサンフランシスコで結成以来、アメリカのハンドベル界をリードし続けるトップグループ「ソノス・ハンドベル・アンサンブル」が7年ぶりに登場!子どもから大人まで魅了する華麗なテクニックでクリスマスの一とときを演出します。

ソノス・ハンドベル・アンサンブル
クリスマスコンサート

12/9(日) 14:00。
3,000円(全席指定・当日500円増)。
072-780-2110。

1/9(水)

新春恒例・米朝一門会で初笑い!

いたみホール



2013年も初笑いはいたみホールで!吉例、いたみ寄席「米朝一門会」!「笑う門には福来る!」です。今年も米朝門下の豪華なメンバーが勢ぞろい。出演は桂ざこば、桂南光、桂米團治、桂南天、桂米紫、桂佐ん吉。笑いで迎える新年はいかがですか。

いたみ寄席「桂米朝一門会」 発売!
1/9(水) 18:30。S席3,500円、A席2,500円、
B席2,000円(全席指定・当日各500円増)。
072-778-8788。

10/14(日)

オーケストラの迫力を、身近なホールで

ラスタホール



ラスタホールを練習拠点に活動する待兼交響楽団による演奏会。今回は、ラスタホール開館20年企画として「オーケストラで聴きたい曲リクエスト」特集です。(リクエストの受付は7月で終了いたしました)
*詳細は本紙コラム「サークル来訪」をご参照ください。

ラスタライトコンサート~待兼交響楽団

10/14(日)14:00。無料。072-781-8877

10/28(日)

上演時間約180分の記念碑的大作!

アイホール



撮影:石川純

黒田育世が率いる、日本を代表する女性だけのダンスカンパニー、BATIK。ひたすら踊り、創作を続けてきたカンパニーの結成10周年の節目に、振付家自身が「死ぬ準備」だと話す新作が登場。

アイホールダンスコレクションvol.68 劇場共同製作
BATIK「おたる鳥をよぶ準備」

10/28(日)14:00。一般4,000円、学生3,500円。072-782-2000。

11/3(土・祝)~11/11(日)

こだわりの手づくりライフはいかが?

伊丹市立工芸センター



伊丹工芸クラブ会員の作品を展示即売します。プロの工芸作家やクラフト愛好家による手づくりの器やバッグ、アクセサリー、小物など生活の中で使える素敵な1点物がたくさん。また会期中に開催される各種ワークショップでは作品づくりにも挑戦できます。

伊丹クラフトフェア by 伊丹工芸クラブ

11/3(土・祝)~11/11(日)10:00~18:00(入館は17:30まで。
最終日は16:30閉館)。無料。072-772-5557。

アイテムおすすめのイベント

11/17(土)~12/24(月・祝)

お酒好き必見!「酒器・酒壺台」展

伊丹市立工芸センター



大賞「虹の壺」梶間智絵

日本全国、また海外からも多数応募のある「伊丹国際クラフト展」。その入賞・入選作品を一挙公開します。今年のテーマは「酒器・酒壺台」。日本酒が美味しくなるような器がいっぱい。お求めいただける作品もあります。

2012伊丹国際クラフト展「酒器・酒壺台」

11/17(土)~12/24(月・祝)10:00~18:00(入館は17:30まで)。
無料。072-772-5557。

12/8(土)

極上の音楽で至福のひとときを!

いたみホール



イタリア屈指のアンサンブルを誇る「ローマ室内オーケストラ」がイタリアオペラ界で活躍する名ソプラノ歌手マーシャ・カレラを伴い来日。ヴィヴァルディの「四季」全曲をはじめ、「G線上のアリア」等、名曲プログラムでお贈りするクリスマス・コンサート。

クリスマス in イタリア ローマ室内オーケストラ

12/8(土)15:00。4,000円(全席指定)。072-778-8788。

1/20(日)

あの五弁の花たちが帰ってくる!

伊丹アイフォニックホール

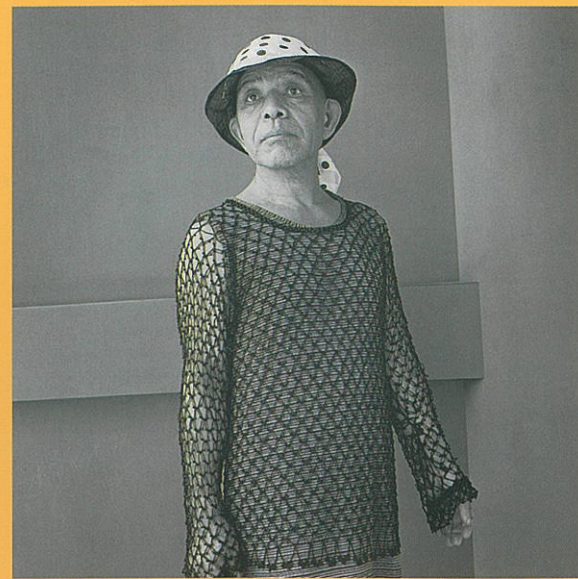


土の温もりによるあたたかい音色が人気の「オカリナ」、低音の魅力あふれる「チェロ」、そして優しさの中にも哀愁を帯びた「アイリッシュハーブ」による、美しき饗宴をお楽しみください。

五弁の花 新春オカリナコンサート
~アイフォニックの響きに合わせて~vol.2

1/20(日)14:00。一般2,500円、学生2,000円
(全席指定・当日各500円増)。072-780-2110。

「風刺とユーモア」



©Hiroh Kikui

「日にちを間違え、花火大会だと思ってきてしまったというひと」

鬼海弘雄は、40年以上にわたって、強烈な存在感と詩情をあわせもった、浅草の人々を撮り続けている。ポートレイトの主は、奇怪といってもおおげさではない風体で、社会の枠組みとは相容れない人物のようだが、鬼海弘雄は「変わった人」を選んで撮っているのではない。人生の物語を全部背負ってやってくる、そして自身から自分の人生観を放散させながらあらわれた「人間」を、王の肖像であるかのように堂々としたポートレイトとし

て撮っている。それらのポートレイトと、そこに写真家自身が書き添えたキャプションを目にする、想像力を刺激され、様々なストーリーが写真から立ちあられてくる。みな魅力的な顔をしている。そして鬼海弘雄のポートレイトに目が離せないほどひきつけられるのは、まるで鏡を覗き込むように、自分自身の内面とどこか共通する、人間の普遍的な姿を感じるからではないだろうか。

「漫画や絵本など、平面的な作品作りで煮詰まった時、周りにいる立体の作品たちが、色々なアイデアを出してくれてくれればよかった。」
もしかしたら誰もいないアトリエで、仲間たちが楽しいアイデア会議を始めているのかもしれない。
(取材/伊丹市立工芸センター 澤野宏美)

伊丹市立美術館学芸員/多忠秋
鬼海弘雄写真展 PERSONA 東京ポートレイト、インディア、アナトリア
11月10日(土)~12月24日(月・祝) 10:00-18:00 (入館は17:30まで)
月曜休(ただし12月24日(月・祝)は開館) 一般700円、大高350円、中小100円

工芸の企画展と講座など



「漫画や絵本など、平面的な作品作りで煮詰まった時、周りにいる立体の作品たちが、色々なアイデアを出してくれてくれればよかった。」
もしかしたら誰もいないアトリエで、仲間たちが楽しいアイデア会議を始めているのかもしれない。
(取材/伊丹市立工芸センター 澤野宏美)

毛利泰房 一 立体ひとコマ漫画の世界
10月6日(土)~28日(日) ユーモアたっぷりてちよっぴり皮肉な毛利さんの「遊 more ワールド」。
10:00~18:00(入館は~17:30) ニヤリと笑いたい人、必見!
入場無料(10月9日・15日・22日休館)